としょかんくん

124

10月号

2010 国民読書年

としょリンピック結果発表！

7・8月に長岡市内の図書館で「としょリンピック」を開催しました。
どちらのコースにもたくさんの人がさんかしてくれました。
どうもありがとうございました！

マラソンコース　達成者　250人！
本を30さつ読んで、エントリーカードを図書館に持ってきてくれた人に、認定証と記念品をプレゼントしました。

チャレンジコース　達成者　541人！
図書館においてあるチャレンジカードの内容にちょうせんして、全部できた人に記念品をプレゼントしました。

マラソンコース達成者のおすすめの1さつをしょうかいします！

ペンネーム：もえさん（附属小３年）
『ぼくのパパはおおおとこ
せかいいちのパパがいるひとみんなに』
カール・ノラック／文　イングリッド・ゴドン／絵
いずみちほこ／訳　セーラー出版（絵本ゴ）

ペンネーム：はるピーさん（富曽亀小４年）
『すみれちゃんは一年生』
石井睦美／作　黒井健／絵　偕成社（913イ）

ペンネーム：あーちゃんさん（栃尾南小２年）
『ぞくぞく村のミイラのラムさん』
末吉暁子／作　垂石真子／絵　あかね書房（913ス）

ペンネーム：メロンパンさん（下塩小６年）
『なんででんねん天満はん』
今江祥智／文　長新太／絵　童心社（絵本チ）

ほかにもこんな本がおすすめ！

どれも
おもしろそう！

★ペンネーム：拓也君（豊田小６年）
『チョコレート病になっちゃった!?』
ロバート・K．スミス／作　宮坂宏美／訳　山口みねやす／絵　ポプラ社（933ス）
★ペンネーム：七海さん（寺泊小３年）
『あいしてくれてありがとう』宮西達也／作・絵　ポプラ社（絵本ミ）

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

長岡に写真展が
やってくるよ!!
ページの下を見てね。

今森光彦さんの本

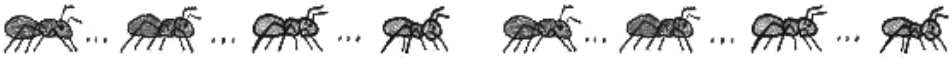
私たちに身近な里山から、熱帯雨林まで、今森さんは、世界中の自然の写真をとっています。
なかでも、虫のすがたをとらえた写真は、私たちにおどろきと、そのいとしさを教えてくれます。
庭先で、雑木林で、よく見かける虫たち。体は小さいけれど、たくましく生きるすがたに、はっとしたり、わくわくしたり…。今回は、そんな今森さんの本を、３さつしょうかいします。

『ダンゴムシ』今森光彦／文・写真　アリス館（485イ）

庭先でダンゴムシのかんさつを始めた今森さん。はらばいになっても、ダンゴムシの背中しか見えないので、ついに家の中で、かい始めてしまいました。すると、外では分からなかったダンゴムシの生態が明らかに…。小さいものをいとしいと思う、今森さんのやさしさがあふれています。

Ｑ１．生まれたばかりのダンゴムシの体は何色？
①緑　②灰色　③白

クイズの答えは８ページにあります。



『森の小さなアーティスト』今森光彦／文・写真　福音館書店（486イなど）

Ｑ２．アゲハチョウの幼虫がてきにおそわれたとき、身を守る方法は？
①いやなにおいを出す
②死んだふりをする
③体を大きく見せる

自然の世界で、小さな虫たちは、鳥やカエルにいつ食べられてしまうかわかりません。だから、必死で工夫をして、身を守っています。木の葉そっくりに化けたり、体に大きな目玉の模様をつけたり…。まるでアートのような虫たちのすがたには、きっとみなさんもびっくりするでしょう。

『わくわく切り紙昆虫館』今森光彦／作　童心社（754イ）

今森さんのとくぎは、写真だけではありません。今森さんは、本物そっくりに、虫の切り紙を作ってしまうのです。とても細かいところまで作ってあり、まるで今にも動き出しそうです。
この本には、型紙がついているので、だれでも作ることができます。

Ｑ３．背中にハートの模様がある虫はどれ？
①ボウシツノゼミ
②マノハナカマキリ
③エサキモンツキツノカメムシ

今森光彦さんの写真展を開催します!!
「今森光彦写真展　昆虫４億年の旅」
会場：中央図書館２階美術センター　開催期間：10月16日(土)～11月７日(日)
時間：午前10時～午後６時（10月31日(日)は午後５時まで）
休館日：10月18日(月)・25日(月)・11月１日(月)　入場無料
みなさん、ぜひ見に来てください。

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

魔法使いになりたい

魔法が使えたら…なんて考えたことはありませんか？
魔法が使えたら、みなさんは何がしたいですか？
ほうきにまたがって空をとびたい！
つえをつかって呪文をとなえてみたい！
そして、宿題をなくしたり…
一日だけ学校に行って、あとは全部休みにしたり…
今回はいろいろな魔法、魔法使い、魔女について書かれている本を集めました。

『ルルと魔法のぼうし』

スーザン・メドー／作　こやまこいこ／絵
おおつかのりこ／訳
徳間書店（933メ）

ルルは12才の女の子。家は手品師一家（実は魔法使い）。でもルルはひろわれっ子なので魔法使いではありません。手品も苦手です。ところが古い箱からぼうしを見つけてから、あらふしぎ。手品はうまくなるしぼうしの中の〈おくの世界〉に行くこともできるようになります。ぼうしをめぐってさまざまな事件にまきこまれ、いろいろな人に出会い、少しずつルルのヒミツがあきらかになっていきます。

『先生は魔法つかい？』

プロイスラー／作　中村浩三／訳
伊東寛／絵　偕成社
（943プ）

ドイツの小さな町の小学校に転任してきた先生は、ちょっぴり魔法が使えます。入れかわってはいたずらするふたごを見わけるためには？はずかしがりやに思いっきり歌を歌わせるためには？そんな時、先生の魔法はとっても役にたちますが、時にはしっぱいすることも。みんなはそんな先生が大好きです。そして先生との別れはとつぜんやってきます。すてきなお手紙のプレゼントとともに。あなたの学校にも魔法が使える先生がいるかもしれませんよ。

『ハロウィーンってなぁに？』

クリステル・デモワノー／作
中島さおり／訳
主婦の友社（絵本デ）

10月と言えばすっかりおなじみになったハロウィーン。でもその由来や、なぜかぼちゃをくりぬいてランタンにするのか、おばけのかっこうをしておどかしながらおかしをもらうのか知っていますか？この本は小さな魔女のビビが、おばあちゃんの魔女からハロウィーンの由来、ジャックのランタン伝説、かぼちゃのランタン、かぼちゃのタルトの作り方までバッチリ教えてもらいます。さああなたも、魔女のビビといっしょにハロウィーンを楽しみましょう。

まだまだたくさん魔法のおはなし

『魔法使いになるための魔法の呪文教室』
ビアトリス・フィルポッツ／文　ロバート・イングペン／絵
神戸万知／訳　東洋書林（147フなど）

『魔術学入門　魔術を始める人のための24の教え』
ドゥガルド・A．スティア／作　浜田かつこ／訳
ジョン・ハウ／〔ほか〕画　金の星社（147ス）

『ヘンゼルとグレーテル』
バーナディット・ワッツ／絵　相良守峯／訳
岩波書店（昔話　絵本／へなど）

『魔法使いのチョコレート・ケーキ』
マーガレット・マーヒー／作　石井桃子／訳
シャーリー・ヒューズ／画　福音館書店（933マ）

『魔女学校の一年生』
ジル・マーフィ／作・絵　松川真弓／訳
評論社（933マ）

『ちっちゃな魔女　1』
アンネッテ・ヘアツォーク／作　ユッタ・ガールベルト／絵
さとうのぶひろ／訳　小峰書店（943ヘ）

『新魔女図鑑』

角野栄子／著　下田智美／絵
ブロンズ新社（147カ）

ある日、図書館へ行ったエイコおばさんはふしぎな体験をします。「黒猫」という本をさがしていたらほんとに黒猫が歩いていて…。その先には「魔女」の本。そしてその本の扉を開いてみると魔女のゾゾさんの部屋が！魔女の歴史、ほうき、お家、仲間、魔法のかけ方、料理など、魔女のゾゾさんから教わった魔女のヒミツが、この本にやさしく書いてあります。この本の作者は『魔女の宅急便』を書いた人です。この体験が『魔女の宅急便』のヒントになったのかもしれませんね。

『願いごとのえほん』

ローズアン・ソング／文　椎名かおる／訳
エリサ・クレヴェン／絵
あすなろ書房（絵本ク）

七夕の日に、ねがいごとをたんざくに書く日本。トレビの泉にコインを投げてねがいごとをするイタリア。世界中ねがいごとのかけかたは様々です。これが魔法やおまじないの最初だったのではないでしょうか。この本にはいろいろな国の幸せをよびこむ方法がしょうかいされています。インドでは、クジャクの羽をノートにはさんでおくとねがいがかなうそうです。本の中のラッキーアイテムをすべてさがすとハッピーになれるそうです。ぜひさがしてみてください。

『魔法使いの秘密の道具箱』

ジャニス・イートン・キルビーほか／文
井口智子／訳　リンディ・バーネット／絵
技術評論社（147マなど）

この本の語り手は600年生きている魔法使い。弟子たちにすべてを明かすときがきました。泡や、けむりがわいてくる魔法の薬の作り方。魔法使いが持っている服や、つえ、魔法の指輪、空とぶじゅうたんの作り方。ぞくぞくするようなぼうけん。これまでけっして明かしたことのないひみつの話にびっくり！この本を読めば、あなたも魔法使いの弟子になれるかもしれません。

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

ながおかむかしむかし

戦時中のレコードのチラシ
（文書資料室所蔵）

今から67年前の昭和18年、日本が外国と戦争をしていた時代のレコードのチラシがのこされています。音楽をきくことや映画館へ行くことが好きだった長岡市に住む少年が、おじいさんになるまでとっておいたものです。敵の飛行機の爆音を集めたレコードがあったのかと、おどろかされます。

二度とこのようなものが必要ない、平和な時代が続くにはどうしたらいいでしょうか？長岡市は、新潟県でたったひとつの、空襲にあった都市です。みなさんも、戦争と平和について書かれた本を読んだり、戦争を経験した人のお話を聞いたりして、平和の大切さを考えてみてください。

（文書資料室　小林良子）

戦争や平和についての本は
図書館にたくさんあるよ

流れ星BOOKストア

ちょっと背のびしたいBOYS ＆ GIRLSのみなさん！
YAコーナーから、きまぐれ本屋がやってきました。
さて、今回はどんなお話でしょうか？

『となりのこども』　岩瀬成子／作　理論社　（ヤングアダルトコーナー913.6イ）

ぶたいは日本のどこかの、とある町。子どもたちの日常生活があざやかにえがかれています。

どこにでも起こりうる、ありふれた出来事に思わず「あぁ！こんなことあるかも‼」と、だれもが共感できるのではないでしょうか。

７つの物語がありますが、読んでいくうちに実はそれぞれの話の登場人物や、そこにえがかれる風景がほんの少しずつからみ合っていることがわかります。どんな風につながっているのか…？ぜひみなさんの目でたしかめてみてください。

（横山知加子）

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

★ヤングアダルト（ＹＡ）コーナーとは…中学生・高校生などティーンズ向けの本を集めたコーナーです。としょかんくんを読んでくれるみなさんも、このコーナーをのぞくと、新しい発見があるはず。本の背表紙の黄色い半月シールが目じるし。さがしてみてね！

としょかんくん124号イラスト大賞

としょかんくん123号読者アンケートの中から、みなさんのかいてくれたイラストをしょうかいします！

冨曽亀小　ペンネーム　280さん

千手小　ペンネーム　マロンさん

才津小　ペンネーム　ゾロアさん

川崎小　ペンネーム　りくちゃんさん

たくさんのイラストありがとう！みなさんもイラスト大賞にさんかしてね♪

☆教えて！図書館のこと☆

123号の読者アンケートに書いてもらった、図書館についてのみなさんからのしつもんにお答えします！
123号で特集した【米百俵号】へのしつもんがたくさんとどいたので、まとめてお答えしますね。

Q．米百俵号の休みの日はいつですか？（川口小　ペンネーム　おねさん　ほか）
米百俵号ってどこに来るんですか？（大河津小　ペンネーム　ゆうくん　ほか）

A．米百俵号は１年のうち108日間を、２台で長岡市内を回っています。
米百俵号の停まる場所は「関原小学校」・「上通保育園」などです。
巡回コースなど、くわしいことは【米百俵号巡回日程表】に書いてあります。
巡回日程表は、長岡市内の図書館・各支所などにおいてあります。
長岡市のホームページにものっているので見てくださいね。

米百俵号のこと、少しはわかってもらえたかな？
ほかにも図書館について知りたいことがあったら読者アンケートに書いてね。
しつもんお待ちしています！

みんなの声

としょかんくん123号読者アンケートの中から、みなさんの声をしょうかいします。

としょかんくん123号の感想をひとこと！

◆本のとしが書いてあって、「へえ～」と思いました。（千手小　R・Iさん）
◆米百俵号で本をかりるとべんりだなと思った。
（千手小　ペンネーム　ハニーさん）
◆「イラスト大賞」の絵がおもしろかったです。　（栃尾東小　K・Kさん）

あなたの好きな本、おもしろかった本を教えて！

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

『世界どうぶつ家族』　たなかこうじょう／文・写真　岩崎書店（482タ）
◆いろいろなどうぶつがいるのがおもしろかったです。　（栃尾東小　H・Kさん）

『そらいろマフラー』　北川チハル／作　河原まり子／絵　岩崎書店（913キ）
◆姉と妹がかわいくて、姉が妹にそらいろマフラーを作ってあげているところが、やさしくてよかったです。　（才津小　ペンネーム：いっちゃんさん）

『ふゆじたくのおみせ』　ふくざわゆみこ／作　福音館書店（絵本フ）
◆くまさんとやまねさんのやさしくて思いやりのあるところがおもしろかった。
（川崎小　ペンネーム：いちごだいすきさん）

行事のおしらせ

中央図書館

★親子お話工作教室クリスマススペシャル★
12月14日（火）午前10時30分～11時30分　２階講座室１
絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせ、工作など

★つぐみの会クリスマススペシャル★
12月23日（祝・木）午前10時30分～　おはなしのへや
ストーリーテリングや絵本の読み聞かせなど。いろいろもりだくさん♪

互尊文庫

★おはなしきかせてクリスマススペシャル★
12月23日（祝・木）午後２時～３時　３階学習室
絵本・紙芝居の読み聞かせ、工作など

北地域図書館

★ハロウィンパーティー★
10月17日（日）午後２時～３時　多目的ルーム
絵本・紙芝居の読み聞かせ、工作など

今森光彦さんの本クイズコーナー　答え　Q１：③　Q２：①　Q３：③

平成22年10月１日　発行　　編集・発行：長岡市立中央図書館
住所：長岡市学校町１丁目２番２号　　電話：0258（32）0658
ホームページ：http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp　メールアドレス：lib@city.nagaoka.niigata.jp
編集委員：関矢麻由美　長瀬貴子　古田島亜衣　大塚望美　中川寛子　矢野直美　宮谷潔子
表紙イラスト：峠 夏美　印刷：北越印刷㈱